

① 業務改善事例	○
職場ドック該当事例	
② 府民サービス向上事例	

チーム名	農林水産京カプラン推進チーム
担当者 【所属名】	木村哲史、上山圭子【農政課】 内部評価部会 水口裕一郎【担い手支援課】 堀野康平【農村振興課】 蘆田哲也【研究普及ブランド課】 津田義郎【食の安心・安全推進課】 山口正章【林務課】（他32名）

タイトル	農林水産部施策推進マネジメント（PDCAサイクル）
------	---------------------------

アピール ポイント	『組織横断的な「対話」』と『府民目線で幅広い観点』を取り入れた施策推進マネジメントの仕組みを構築
--------------	--

背景	<ul style="list-style-type: none"> ○TPPなど経済のグローバル化や少子高齢化・過疎化が進行する中、国内外の競争の激化や地域コミュニティの低下、農山漁村が持つ多面的機能の低下が懸念 ○このような中、変化する社会情勢に対応し、課題や府民ニーズを的確に捉え、柔軟に施策を展開していくことが必要 ○また、そのためには、組織が縦割りにならず、有機的に連携し総合力を発揮することが重要
----	---

改善 内容	<p>「組織横断的な対話」と「府民目線で幅広い観点」を取り入れた年間を通じたPDCAサイクルによる施策推進マネジメントの仕組みを構築 （具体的取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部内の副課長等で「内部評価部会」を構成し、「対話」を通じて施策の実施状況等について評価 ○さらに、学識者、農林漁業者、マスコミ関係者、公募委員で構成する「外部有識者委員会」を設置し、府民目線で幅広い観点から評価・意見をいただき、次年度の施策に反映 ○農林水産や流通関係の団体とは、ビジネスパートナーとして一緒に施策を進める観点から、意見交換の場を設定
----------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○課を越えた横断的な「対話」が一層進み、相互の情報共有や気づき、施策マネジメントの意識向上につながった ○施策の進捗状況等を分かりやすく伝え、多分野からの評価を受け、意見交換を行うことにより、府民目線で、施策を見つめ直すことができた ○そのことにより、重点事業等の施策検討につなげることができた
----	---

今後の 展開	PDCAサイクルによるマネジメントを効率的に行いながら、この仕組みを定着させ、情勢や府民ニーズに対応した施策を着実に展開していく
-----------	--

農林水産部施策推進マネジメント

組織横断的な連携を図り、課題や府民ニーズを的確に捉え、柔軟に施策を見直す仕組み

内部評価

副課長等で『内部評価部会』を構成
(5分野、計36名)

→ 「対話」を通じて、分野施策
の実施状況等について評価



人づくり・組織づくり内部評価部会



地域づくり・絆づくり内部評価部会

外部評価

学識者、農林漁業者、マスコミ関係者、
公募委員で構成する『外部有識者委
員会』を設置(17名)

→ 「府民目線で幅広い観点」
から外部評価



関係団体との情報交換会

一緒に施策を進めるビジネスパート
ナーとして、意見交換会を開催

(年2回、14団体)

施策反映

フィードバック

委員の声

- ☺ 委員会で話し合った
内容が随分反映され
ている!
- ☺ 前年よりずっと肉付
けされた懐の深い事
業になっている!
- ☺ 目線が府民や農業者
に向いており、あり
がたく感じている!